

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 保育サービス ひまわりママ
アドレス（HP、X、FB等）	npomama@orion.ocn.ne.jp
事業の名称	地域で子育て支援 ～保育支援者養成講座～
事業の目標	女性の就業率が高まり国を挙げて子育て支援が進められているが、コロナ禍を経てより一層多様な支援が求められている。にも関わらず支援を担う人材が不足しているいま、子育て世代を応援したい、手を差し伸べたいという気持ちを持った人材を広く市民の中から発掘し育成することを目的とする。
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	別紙参照
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	・参加人数、実施回数については別紙参照 ・専門性の高い講師の講座を受け、知識向上につながり充実した講座となった。 ・講座実施により、地域の多くの方に団体の名前、活動を周知ができ、長年、市内で活動していることの意味を改めて見直すことができた。 ・新しいアイデアとして、簡単に作れる料理講座を実施したことにより、産前産後ヘルパーの料理支援のハードルを下げることが出来た。 ・講座終了後、会員として入会し、実習を終えた現在、支援者として活動している。
目標の達成度 （自己評価）	☐ 1. 達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☒ 2. ある程度達成できた ☐ 4. 達成できなかった

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	講座実施により、地域の多くの方に団体の名前、活動を周知をすることが出来た。子育てで困っている方にも手を差し伸べてくれる団体があるということを地域全体に広げることが出来た。新規入会人数は目標数には達しなかったが、講座終了後、団体で継続的に保育活動をしてくれる人材を発掘することができた。又、既会員のフォローアップ研修を合わせて実施したことにより、新規受講者との交流もでき、繋がりもできた。講座で得た知識やスキルも実際の活動に活かされてくると思われ、子育て世代を応援していく質の高い応援者を養成する講座となった。
今後の課題・抱負	・女性の就業率の高まり、多様な家庭環境により、一層子育てに対する支援が必要と感じている中、子育て支援をする人材はまだ不足している。繰り返しの声かけや講座の開催も含め、地道な活動により、子育て支援に関心のある人々の発掘が必要と思われる。工夫をしながら進めていきたい。 ・基本的な子育てに対する考え方は変わらないが、支援内容、環境は日々変化している。世の中の情報、状態をしっかりアンテナを張ってキャッチしていき、その時々に必要な子育て支援を目指していきたい。

活動状況について

